

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス ジョパンニの森		R7 年 2 月 28 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	1	活動スペースに限りがあるが、事業所の空いている部屋や近隣の公共施設を活用している。	グループごとに室内室外にわけて活動を行ったり、近隣の公共施設を活用するなど場所の確保を継続して工夫していく。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	0	人員基準の職員数は配置されている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	7	建物の構造上、階段があるためバリアフリーではないが、手すりやすすり止めを設置し工夫している。	危険のないよう、見守り・声掛け・介助は引き続き行い、安全に気を付けていく。また、遊びと学習の空間を分かりやすく分ける工夫が必要だと感じる。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	毎日清掃を行い、清潔な環境を保っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	1	体調不良やクールダウン、学習に集中したい場合等に個別で部屋や場所を利用できるようにしている。	・活動のスペースに限りがある為、児童の様子や状況を踏まえ、適切な場所の確保・職員配置を行う必要がある。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11	0	会議などで職員間の話し合いを行っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	評価表のアンケートも実施しているが、定期的に保護者会を実施し意見を頂き、支援に生かしている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	毎月職員会議を行い、職員間で話し合いを行っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	2	顧問弁護士、行政書士、税理士等による第三者委員会を開催している。課題及びその内容を分かりやすく広報していく必要がある。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	スキルアップのため、研修（外部）に参加し、知識を身につけて、職員全体での共有を行っている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11	0	担当者会議やモニタリング、面談での情報をもとに現在の課題や要望を把握し、半年ごとに放課後等デイサービス計画を作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	毎月の職員会議の際に支援計画案について話し合い、職員間で支援方針の統一をはかる時間を設けている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	毎月の職員会議にて、職員間で話し合いを行っている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0	多職種による活動プログラムの立案を行い、会議の際に話し合い決めている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	児童、保護者の要望もふまえ、インターネットの情報等も活用し、多様な内容のものになるように計画を立てている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11	0	児童の体調や天候により予定を変更することもあるため、臨機応変に対応できるよう計画している。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	毎朝のミーティングにて、来所児童や活動について打ち合わせを行い、確認している。伝達まちがいがないように連絡ノートも活用している。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	2	送迎を利用する児童が多く、職員の退勤時間もあるため、全員での共有は難しいが、記録に残したり、携帯電話での連絡手段を活用している。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	職員間でのダブルチェックでの間違い防止を徹底し、内容についても共有している。	

	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0	毎月支援会議を行い、対象児童のモニタリングを行っている。相談支援事業所とも連携し情報の共有をするとともに計画の見直しもしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	11	0	総則基本活動を偏ることなく複合して実践している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	管理者、児童発達管理責任者、日々支援している職員が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	0	行事や下校時間は保護者を通して連絡を受けている。送迎時やトラブル発生時には学校と連絡をとりあっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	1	利用開始前に連携会議にて情報の共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11	0	就労継続支援等に移行する場合は会議に参加していただき、情報の共有や引き継ぎを行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	11	0	研修会へ参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	2	イベントへ近所の子どもたちを招待し、活動を共にする機会を設けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	3		現時点では参加できていないが、今後可能な限り参加する。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	利用時の様子を記録し保護者へお渡ししている。また、電話やメッセージも活用して家庭での様子もお知らせしていただいている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	2	季節ごとに保護者会を開催し、様々な講師による学びの場を保護者の方々に提供している。また、どのようなことを知りたいか等のアンケートも実施している。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	契約時に詳細の説明を行い、了承を得ている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	11	0		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	活動報告のSNSにて、個人情報が出ていないと連絡を受けた際、直ぐに削除し訂正して対応することができた。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	1		・お餅つきや夏祭りなど、事業所内のイベントに地域の方を招待し、ご参加頂いている。今後も継続して地域の方との交流の機会を計画していく。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0	全職員で把握し、事業所内で服薬する際は医療スタッフが対応している。	

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	全職員で把握し、昼食やおやつを提供の際は印をつけて間違いのないよう注意して提供している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	ヒヤリハットが発生した場合、報告書を作成し会議の際に伝達、再発防止に向けた話し合いを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	職員研修にて虐待防止について職員が学ぶ時間を設けている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	0	現時点まで身体拘束を行うことはない。事業所作成のガイドラインを遵守する。	

事業所における自己評価結果